

1年 体育理論① 運動やスポーツの多様性					★配当時数3時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	4～5	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、体育の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 運動やスポーツの必要性和楽しさ	6～7	(1)ア(ア)、イ、ウ	①人は、なぜ運動やスポーツをおこなうのだろうか。 ②スポーツの意味は、どのように変わってきただろうか。	●運動やスポーツの必要性和楽しさがイメージできるように、写真やイラストを豊富に用いて工夫している。 ●スポーツの捉え方の広がりや、イラストを中心にわかりやすく示している。	
2. 運動やスポーツへのかかわり方	8～9	(1)ア(イ)、イ、ウ	①運動やスポーツには、どのようななかかわり方があるのだろうか。 ②運動やスポーツにかかわれるのは、特定の人だけだろうか。	●東京マラソンや野球の試合、中学校の運動会を例に、スポーツへの多様ななかかわり方を示し、理解できるようにしている。	
3. 運動やスポーツの多様な楽しみ方	10～11	(1)ア(ウ)、イ、ウ	①運動やスポーツには、どのような楽しみ方があるだろうか。 ②豊かなスポーツライフを実現するためには、どのようなことが大切だろうか。	●ランニングを例に運動やスポーツの多様な楽しみ方を解説した上で、豊かなスポーツライフの実現に必要な条件をわかりやすく示している。	
特集資料	12～13	「ゆるスポーツ」や「超人スポーツ」を取り上げ、運動が苦手な人や高齢者、障害者も楽しめるスポーツが提案されていること、運動やスポーツの楽しみ方が多様であることを実感できるように工夫している。			
章のまとめ	14～15	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り			

1年 保健① 調和のとれた生活					★配当時数4時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	16～17	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 健康の成り立ち	18～19	内容(1)ア(ア)、イ	①健康については、どのような考え方があるだろうか。 ②健康には、どのような要因が関係するだろうか。	●第3学年から第1学年に取扱いが変更になったことを踏まえて、内容を整理し、学習しやすくなるように工夫している。	
2. 運動と健康	20～21	内容(1)ア(イ)、イ	①運動は、健康とどのように関連しているだろうか。 ②どのような運動のしかたが健康によいだろうか。	●宇宙飛行士が宇宙ステーション内で筋力トレーニングをしている写真を掲げ、運動の意味を理解できるようにしている。 ●自分の運動習慣を振り返り、改善の方法を考える学習活動を設定している。	
3. 食事と健康	22～23	内容(1)ア(イ)、イ 内容の取扱い(3)	①食事は、健康とどのように関連しているだろうか。 ②どのような食事のしかたが健康によいだろうか。	●食事の重要性を語るスポーツ選手のコラムを示し、健康的な食習慣の重要性が理解できるように工夫している。	
4. 休養・睡眠と健康	24～25	内容(1)ア(イ)、イ 内容の取扱い(3)	①疲労は、健康とどのように関連しているだろうか。 ②どのような休養・睡眠のしかたが疲労の回復によいだろうか。	●スマートフォンと疲労の関係を示し、自分の生活を見直すことができるようにしている。 ●心身が成長する中学生期は、「早寝早起き朝ごはん」が重要であることを脚注に示している。	
章のまとめ	26～27	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り			

1年 保健② 心身の発達と心の健康					★配当時数12時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	28～29	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 体の発育・発達	30～31	内容(2)ア(ア)、イ	①私たちの体は、これからどのように発育・発達するだろうか。 ②体の各器官の発育・発達には、どのような特徴があるだろうか。	●これからの発育・発達や生涯の健康において、中学生期の生活のあり方がいかに重要かが示されている。	
2. 呼吸器・循環器の発育・発達	32～33	内容(2)ア(ア)、イ 内容の取扱い(6)	①呼吸器・循環器の働きは、どのように発達するだろうか。 ②呼吸器・循環器の働きを高めるには、どうすればよいだろうか。	●呼吸器・循環器の発育・発達が持久的な運動を継続的におこなうことでうながされることを取り上げ、体育理論編の学習との関連をはかるとともに、体育授業や日常生活の中で体を動かすことの大切さを示している。	
3. 生殖にかかわる働きの成熟 (1)	34～35	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(7)	①思春期には、どのような体の変化が起こるだろうか。 ②女子の生殖の働きは、どのように発達するだろうか。	●思春期の体に起こる変化は、新しい命を生み出せる体への成熟の過程であり、その起こり方や時期には個人差があることが理解できるように示している。	
4. 生殖にかかわる働きの成熟 (2)	36～37	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(7)	①男子の生殖の働きは、どのように発達するだろうか。 ②受精が起こるしくみは、どのようなものだろうか。	●Q&A形式の「健康相談コーナー」を設けて、思春期の性に関する身近な疑問を取り上げ、正しい理解をうながすとともに、中学生の不安や心配の解消をはかるように工夫している。	
5. 性への関心と行動	38～39	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(7)	①性への意識は、みな同じ時期に同じようにあらわれるのだろうか。 ②性情報へはどのように対処したらよいだろうか。	●性意識には個人差があること、性に関する不安や悩みがあるときには、信頼できる大人や専門家に相談できることを示している。 ●SNSを通した自撮り被害の事例を示し、性情報への対処について考えられるように工夫している。	
6. 知的機能・情意機能の発達	40～41	内容(2)ア(ウ)、イ	①心にはどのような働きがあるだろうか。 ②心は、どのように発達していくだろうか。	●脳の神経回路の発達について、科学的根拠（エビデンス）に基づいたコラムでわかりやすく説明している。 ●知的機能や情意機能は、経験や学習によって発達することがわかるように、資料を工夫している。	
7. 社会性の発達と自立	42～43	内容(2)ア(ウ)、イ	①社会性は、どのように発達するだろうか。 ②自立と社会性は、どのように関係しているだろうか。	●友だちとのコミュニケーションのあり方を学ぶ学習活動を設定し、自他を尊重した表現技能が身につくように工夫している。	
8. 自己形成	44～45	内容(2)ア(ウ)、イ	①自分自身について考えることの意味とは何だろうか。 ②自己形成のためにはどのようなことが必要だろうか。	●プロ棋士の藤井聡太さんをコラムで取り上げ、幼少期と現在の様子を比較することで、中学生が自己形成について身近に考えられるように工夫している。	
9. 欲求とその充足	46～47	内容(2)ア(エ)、イ	①欲求とは何だろうか。 ②欲求を充足するときにはどのような点に注意すればよいだろうか。	●欲求は私たちの成長に必要不可欠なものであること、欲求不満の状態が長く続くと心身の健康を損なうので、欲求を適切にコントロールする必要があることが理解できるようにしている。	
10. 心と体のかかわりとストレス	48～49	内容(2)ア(エ)、イ	①心と体は、どのようにかかわっているだろうか。 ②ストレスは、私たちにどのような影響を与えるだろうか。	●心と体がかかわっているしくみやストレスの心身への影響について、身近な事例や模式図を使ってわかりやすく示している。	
11. ストレスへの対処のしかた	50～51	内容(2)ア(エ)、イ 内容の取扱い(8)	①ストレスへの対処のしかたには、どのようなものがあるだろうか。 ②ストレスへの対処の方法を選ぶときには、何に気をつければよいだろうか。	●ストレス対処の方法の一つとして、部活動や友だち関係の事例を挙げて、受け止め方を見直す学習活動を設定し、工夫している。	
12. 実習 リラクゼーションの方法	52～53	内容(2)ア(エ)、イ 内容の取扱い(8)	①体の緊張をほぐすことで、気分が楽になることを体験する。 ②リラクゼーションの技能を身につける。	●「呼吸法」「体ほぐしの運動」「筋弛緩法」の3つを取り上げて、技能を身につけられるようにしている。	
クローズアップ	54～55	【悩みに上手に対処しよう】悩みやいじめを取り上げ、不安な気持ちを抱え込まずに助けを求めたり相談したりする「援助希求行動」や、友だちを気づかい援助する力の育成に役立つ資料を豊富に掲載している。			
章のまとめ	56～57	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り			

2年 体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全					★配当時数3時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	58～59	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、体育の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 運動やスポーツの体と心への効果	60～61	(2)ア(ア)、イ、ウ	①運動やスポーツをすると、体や心はどのように変化するだろうか。 ②どのように運動やスポーツに取り組めば、社会性を高められるだろうか。	●運動やスポーツには心身両面への効果が期待できることについて、豊富な写真やイラスト、具体例などを用いてわかりやすく示している。	
クローズアップ	62～63	【体力を高めよう】体力の高め方について取り上げ、体づくり運動と関連づけて指導できるように工夫している。			
2. 運動やスポーツの学び方	64～65	(2)ア(イ)、イ、ウ	①運動やスポーツで用いられる技術や戦術とは何だろうか。 ②技術や戦術は、どのように学べばよいだろうか。	●技術、戦術、作戦の定義やそれぞれの関係が視覚的に理解できるように、イラストを使ってわかりやすく示している。 ●運動の技能を獲得するための効果的な手順を図示することで、理解が深まるようにしている。	
3. 運動やスポーツの安全なおこない方	66～67	(2)ア(ウ)、イ、ウ	①安全におこなうために、運動前に注意することは何だろうか。 ②運動中や運動後は、どのような注意が必要だろうか。	●運動やスポーツの安全なおこない方が理解できるように、科学的なデータや具体的な例をわかりやすく解説している。 ●中学生に多いスポーツによるけがや、女性アスリートの三主徴について取り上げ、正しい対処を促している。	
特集資料	68～71	体育理論②に関わる様々な題材（「運動と脳」「試合に向けた心の準備」「リスペクトプロジェクト」「運動やスポーツによるけが」など）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	72～73	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り			

2年 保健③ 生活習慣の健康への影響					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	74～75	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 生活習慣病	76～77	内容(1)ア(ウ)、イ	①生活習慣病と呼ばれる病気には、どのようなものがあるだろうか。 ②どのような生活習慣が、病気のリスクを高めるだろうか。	●第3学年から第2学年に取扱いが変更になったことを踏まえて、内容を整理し、学習しやすくなるように工夫している。 ●むし歯と歯周病についてコラムで取り上げ、中学生の興味関心を触発するよう工夫している。	
2. 生活習慣病の予防	78～79	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(3)	①生活習慣病は、どのようにして発病するだろうか。 ②どうすれば生活習慣病を予防できるだろうか。	●生活習慣病の起こり方についての図解資料を提示し、病気の進行が理解できるように工夫している。 ●健康的な生活習慣について、イラストで具体的に提示している。	
3. がんとその予防	80～81	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(3)	①がんは、どのような病気だろうか。 ②どうすればがんを予防できるだろうか。	●がんの発生と進行のしくみ、予防のための適切な健康習慣について、イラスト資料やグラフを通して理解できるように工夫している。	
4. 生活習慣病・がんの早期発見とその回復	82～83	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(2)(3)	①生活習慣病・がんを早期に発見するには、どうすればよいだろうか。 ②生活習慣病・がんの治療には、どのようなものがあるだろうか。	●がん体験者の思いをコラムで取り上げ、中学生ががん患者への理解を深め、がん検診の重要性を理解できるように工夫している。	
5. 喫煙と健康	84～85	内容(1)ア(エ)、イ 内容の取扱い(4)	①たばこの煙には何が含まれているだろうか。 ②たばこの害は、どのようなものだろうか。	●2020年の東京オリンピックで取り組まれた受動喫煙対策について、調べ学習で理解を深められるように工夫している。 ●近年問題となっている加熱式電子たばこに触れ、有害物質を含んでいて害は少なくないことを脚注で説明している。	
6. 飲酒と健康	86～87	内容(1)ア(エ)、イ 内容の取扱い(4)	①お酒には何が含まれているだろうか。 ②飲酒の害は、どのようなものだろうか。	●アルコールの心身への影響や大量飲酒の害について、図解資料やグラフを通して理解できるように工夫している。	
7. 薬物乱用と健康	88～89	内容(1)ア(エ)、イ 内容の取扱い(4)	①乱用される薬物にはどのようなものがあるだろうか。 ②薬物乱用にはどのような問題があるだろうか。	●薬物乱用の心身への害や社会への悪影響について、写真やイラスト資料を通して理解できるように工夫している。	



8. 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処	90～91	内容(1)ア(エ), イ 内容の取扱い(4)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●体育分野との関連を図る観点から、ドーピングの健康への影響についてのコラムを取り上げている。
特集資料	92～93	保健③に関わる様々な題材（「見直そう！スマホの習慣」「飲酒の誘いの断り方」「がんの進捗と早期発見」「がんの3つの治療法」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。		
章のまとめ	94～95	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り		

2年 保健④ けがの防止と応急手当				★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫
とびら	96～97	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。		
1. けがの原因と防止	98～99	内容(3)ア(ア)、イ	<div><div>1</div>けがは、どのようなときに起こるだろうか。</div> <div><div>2</div>どうすればけがは防げるだろうか。</div>	<div>●サッカーゴールなどの転倒事故をコラムで取り上げ、事故防止のポイントを示している。</div> <div>●学校生活や日常生活で発生する事故について、その危険を予測する学習活動を設け、工夫している。</div>
2. 交通事故の実態と原因	100～101	内容(3)ア(イ)、イ	<div><div>1</div>中学生は、どのような交通事故でけがをすることが多いだろうか。</div> <div><div>2</div>交通事故は、なぜ起こるのだろうか。</div>	<div>●自転車事故でも多額の損害賠償をしなければならない場合のあることを、中学生の加害事故の資料で示している。</div> <div>●最近問題になっている「ながらスマホ」について、具体的な事例を取り上げている。</div>
3. 交通事故の防止	102～103	内容(3)ア(イ)、イ	<div><div>1</div>交通事故を回避するためには、どうすればよいだろうか。</div> <div><div>2</div>安全な交通環境のためには、どのような対策があるだろうか。</div>	<div>●自転車乗車中のヘルメット着用の重要性や自転車安全利用五則について、コラムや資料で取り上げている。</div> <div>●交通事故の防止に向けて、危険予測をトレーニングする学習活動を設けている。</div>
クローズアップ	104～105	〔犯罪被害から身を守ろう〕中学生が受けやすい犯罪被害やネットワーク利用犯罪を取り上げ、その危険性を認識させるとともに、予防対策を示している。		
4. 自然災害によるけがの防止	106～107	内容(3)ア(ウ)、イ	<div><div>1</div>日本ではどのような自然災害が起こっているだろうか。</div> <div><div>2</div>自然災害から命を守るためには、どうすればよいだろうか。</div>	<div>●自然災害によるけがの防止の意識が高まるように、チェックシート式に記入する学習活動を設けている。</div>
5. 応急手当の意義と基本	108～109	内容(3)ア(エ)、イ	<div><div>1</div>応急手当は、何のためにおこなうのだろうか。</div> <div><div>2</div>応急手当は、どのような手順でおこなえばよいだろうか。</div>	<div>●応急手当の学習によって救命できたコラムを取り上げて、応急手当の意義が理解できるようにしている。</div> <div>●応急手当の基本を理解させるとともに、救急車の呼び方についてイラスト資料で具体的に示している。</div>
6. 心肺蘇生法の流れ	110～111	内容(3)ア(エ)、イ	<div><div>1</div>心肺蘇生法とはどのような応急手当だろうか。</div> <div><div>2</div>心肺蘇生法は、どのような流れでおこなうのだろうか。</div>	<div>●AEDの重要性和有効性について、グラフで示したり、ASUKAモデルのコラムを通して理解できるようにしている。</div> <div>●心肺蘇生法の流れについて、図解でわかりやすく示している。</div>
7. 実習 心肺蘇生法	112～113	内容(3)ア(エ)、イ	<div><div>1</div>胸骨圧迫の方法を身につける。</div> <div><div>2</div>AEDの使い方を身につける。</div>	<div>●心肺蘇生法の方法と技能ポイントを図や写真で示すとともに、AEDの使い方も取り上げて、実習に取り組みやすいよう配慮している。</div>
8. 実習 止血法、包帯法、固定法	114～115	内容(3)ア(エ)、イ 内容の取扱い(9)	<div><div>1</div>止血の方法を身につける。</div> <div><div>2</div>包帯などでの患部の保護や固定の方法を身につける。</div>	<div>●止血法、包帯法、固定法の方法と技能ポイントをイラストや写真でわかりやすく示すとともに、鼻血への対処法についても触れている。</div>
特集資料	116～117	保健④に関わる題材（「地震災害から命を守る行動」「気象災害から命を守る行動」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。		
章のまとめ	118～119	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り		

3年 体育理論③ 文化としてのスポーツ				★配当時数3時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫
とびら	120～121	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、体育の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。		
1. 現代生活におけるスポーツの意義	122～123	(1)ア(ア)、イ、ウ	<div><div>1</div><div>2</div></div> <div><div>1</div><div>2</div></div>	<div><div>●</div><div>●</div></div>
2. 国際的なスポーツ大会の意義と役割	124～125	(1)ア(イ)、イ、ウ	<div><div>1</div><div>2</div></div> <div><div>1</div><div>2</div></div>	<div><div>●</div><div>●</div></div>
クローズアップ	126～127	〔オリンピック・パラリンピックを学ぼう〕オリンピック・パラリンピック競技大会を取り上げ、2020年大会が我が国で開催されることの意義を実感できるようにしている。		
3. 人びとを結ぶスポーツ	128～129	(1)ア(ウ)、イ、ウ	<div><div>1</div><div>2</div></div> <div><div>1</div><div>2</div></div>	<div><div>●</div><div>●</div></div>
章のまとめ	130～131	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り		

3年 保健⑤ 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	132～133	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 感染症と病原体	134～135	内容(1)ア(オ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●主な感染経路として、「飛沫感染」「空気感染」「接触感染」「媒介物感染」の4つを取り上げ、図解でわかりやすく示している。 ●飛沫と飛沫核の違いについて、イラスト資料でわかりやすく示している。	
2. 感染症と体の抵抗力	136～137	内容(1)ア(オ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●難解な免疫のしくみについて、免疫細胞を擬人化した対話形式の資料にすることで、わかりやすく説明している。	
3. 感染症の予防	138～139	内容(1)ア(オ), イ 内容の取扱い(2)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●感染症からの回復や感染拡大の防止について、本文を通して理解できるように工夫している。 ●「マスクはなぜつける？」のコラムを通して、マスクは感染した本人がつける場合に効果を発揮することを説明し、「咳エチケット」について取り上げている。	
4. 性感染症とその予防	140～141	内容(1)ア(オ), イ 内容の取扱い(2)(5)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●感染症の予防の学習を踏まえて構成し、感染を防ぐには接触感染を避けること、性感染症は不妊や子への感染など大きな問題であることを強調している。	
5. エイズとその予防	142～143	内容(1)ア(オ), イ 内容の取扱い(2)(5)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●感染症の予防の学習を踏まえて構成するとともに、HIV感染からエイズ発病までのしくみを図解でわかりやすく示している。	
6. 保健機関とその利用	144～145	内容(1)ア(カ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●個人の健康は社会的な取り組みに支えられていることを、国や地域だけでなく世界にも視野を広げて取り上げ、中学生が身の回りから外の世界へと関心の範囲を広げていけるよう工夫している。	
7. 医療機関とその利用	146～147	内容(1)ア(カ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●医療機関は、種類の違いによる役割を知って適切に利用することを理解できるようにしている。 ●医師の診察を受けるときに必要な準備について、図解でわかりやすく示している。	
8. 医薬品の正しい使い方	148～149	内容(1)ア(カ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●薬についての誤解や疑問を読み解く学習活動を設定し、それに答えて正しい使い方を理解できるように工夫している。	
特集資料	150～151	保健⑤に関わる題材（「人類と感染症の終わりなき闘い」「免疫とがん治療」「免疫と食物アレルギー」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	152～153	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り			

3年 保健⑥ 環境の健康への影響					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	154～155	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 環境の変化への体の適応	156～157	内容(4)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●体の適応について、意見を出しあって考える学習活動を取り入れている。 ●適応能力の限界と環境変化への対策について、グラフやイラストでわかりやすく示している。	
2. 気象情報の適切な利用	158～159	内容(4)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●気象情報が健康や安全に貢献することを理解できるようにしている。 ●コラムで「熱中症ゼロへ」のウェブサイトを取り上げ、リスクや情報を収集し、熱中症を予防できるように工夫している。	
3. 快適で能率のよい環境	160～161	内容(4)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●スマートフォンの普及にともない問題になっている「ブルーライト」をコラムで取り上げ、注意を促している。 ●自宅を快適に保つための環境面の工夫を考える学習活動を設定し、学習した内容を日常生活に生かせるようにしている。	
4. 室内の空気の汚染と換気	162～163	内容(4)ア(イ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●「シックハウス症候群」などを例にあげ、現代の建物の機密性が高いこと、よって換気的重要性が増していることを理解できるようにしている。	
5. 衛生的な飲料水の供給	164～165	内容(4)ア(イ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●衛生的な飲料水を供給することにおける水道施設の意味、そのしくみを図解でわかりやすく示し、水源の水を汚さないことの大切さが理解できるようにしている。	
6. し尿とごみの処理	166～167	内容(4)ア(ウ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●ごみを放置するとどのような問題が生じるかを、昭和30年代まで使用されていたごみ箱を例に挙げ、環境衛生活動の重要性が認識できるようにしている。	
7. 災害と環境	168～169	内容(4)ア(ウ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●災害による衛生環境の悪化を取り上げ、情報の活用が自他の健康につながることを理解できるようにしている。 ●災害時のSNSはデマや誤情報が広がるきっかけになることを示し、情報の信頼性を判断するポイントを提示している。	
8. 私たちの生活と環境問題	170～171	内容(4)ア(ウ), イ 内容の取扱い(10)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●公害や近年の環境問題を取り上げ、循環型社会の実現の重要性を理解できるようにしている。 ●最近問題になっている「海洋プラスチックごみ」を取り上げ、生活と結び付けて考え、発表する学習活動を設けている。	
特集資料	172～173	保健⑥に関わる題材（「地球温暖化・ヒートアイランドと健康」「熱中症の応急手当」「放射線と健康」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	174～175	知識・技能の確認問題／思考・判断・表現の問題／課題に向かって／学習の振り返り			